

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

コード	名 称		コード	名 称	
事業名	119	しぐれ忌執行等経費	会計	01	一般会計
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	08	芭蕉顕彰費
担当部課名	伊賀支所総務振興課		細目	101	芭蕉翁顕彰経費
作成者氏名	中島義文	連絡先	細々目	02	しぐれ忌執行等経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	市民、芭蕉・俳句に興味を持つ人。	芭蕉翁の遺徳を偲び、翁の文芸に対する姿勢や強靱な精神力を学び、心の豊かさや精神的なゆとりをとり戻せる。また、芭蕉翁生誕地のPRができる。		
本年度事業内容	1・しぐれ忌式典を実施(地元団体へ会場設営等委託) 2・しぐれ忌俳句大会を実施(実行委員会へ委託) 3・いがまち芭蕉翁顕彰会委員会を開催			
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.7	0.7	0.7
人件費合計(A)	5,040	5,040	5,040
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	965	953	701
委託料	560	520	520
報酬	207	252	
備品購入費	84	32	
その他	114	149	181
合計(A+B)	6,005	5,993	5,741
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	400	900	600
一般財源	5,605	5,093	5,141
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
しぐれ忌俳句大会の開催	回	1	1	1			
しぐれ忌俳句大会参加者数	人	109	120	120			
しぐれ忌式典の開催	回	1	1	1			
しぐれ忌式典参加者数	人	80	80	80			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
しぐれ忌俳句大会参加者数	毎年11月12日開催のしぐれ忌俳句大会の参加者数を指標とします。	人	109 目標 (109)	120	120
しぐれ忌式典参加者数	毎年11月12日開催のしぐれ忌式典の参加者数を指標とします。	人	80 目標 (80)	80	80

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併により芭蕉の生誕地は伊賀市となりました。しかし、生誕場所については、「上野説」「柘植説」があり、今のところ決定的な学説がないため、どちらが正しいとは言い切れない状況であり、統合後も調査研究していくことと調整会議において確認されています。そのため、芭蕉月間を位置付け、10月12日芭蕉祭と11月12日しぐれ忌を実施し、芭蕉翁をそれぞれに強い想いをもって顕彰しています。俳句大会については、17年度から伊賀地域の複数の俳句団体が協力して事業展開できるよう実行委員会を組織し、開催しています。芭蕉翁顕彰会が一歩化されるにあたり、事業の見直しを検討されているところです。

評価	必要性	4	平成19年度から(財)芭蕉翁顕彰会といがまち芭蕉翁顕彰会が統合となりますが、生誕場所につき上野説・柘植説があり、これまでの歴史的な背景、経過があることから芭蕉翁顕彰事業としてそれぞれの場所で芭蕉祭としぐれ忌を開催する必要があります。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	4		